

数十年後は、これがふつうの冬？！

2月21日、畑に小さなフキノトウが顔を出しているのを見つけました。朝の味噌汁の中に入れて食べたら、ほろ苦い味とフキノトウの香りが、さわやかな春の味。2月6日には畑でヒバリが鳴き始め、20日にはウグイスの初鳴き。どちらも昨年より2週間ほど早く、春がかけ足で近づいてきているように感じます。

記録的と言われる今年の暖冬。昨年の冬がひどく寒かっただけに、その差を大きく感じます。ハウスの中に時期をずらして種まきをしているラディッシュは、予想以上に早く大きくなり、とりきれないものも出てきています。2月21日の朝日新聞によれば、暖冬の直接の影響かどうかははっきりしませんが、冬野菜がとれすぎて値崩れする事態が続いているそうです。緊急需給調整のために全国で廃棄された野菜の総量は、約2万2千トンに上るとか。畑で出荷できなかった大根を持って帰り、自分で切り干し大根を作っているはしもっちゃんの姿が、私にはキラッと輝いて見えました。

こんなに暖かいと虫が死なない。



2月2日、畑の積雪は5~10cm。この冬4回目の積雪です。

この冬一番の寒気がやってきたということでしたが、気温はマイナス6度くらいで、ハウスの中の野菜がひどく凍る程ではありませんでした。



タマネギは、一回めの草取りがすみました。

エンドウ豆が大きくなってきました。



2月20日、誘引のためのネットを張りました。



2月末だというのに、もうヒヨドリ群れの群れがやってきて、白菜やホウレン草などが食べられてしまっています。

先月、冬野菜についてのご感想をお聞かせ下さいとお願いましたところ、たくさんの方からメッセージをいただきました。スープにしたり、蒸し煮にしたり、冬野菜のおいしさを引き出す工夫がいっぱいで、本当にありがとうございました。ぜひまた、ご感想などをお聞かせ下さい。

4月、山本ファミリー農園は10才の誕生日を迎え、11年目に入ろうとしています。野菜を食べて下さる皆様からのひと言ひと言が、私たちのエネルギーになります。野菜についての感想など、どうぞ皆様の声をお聞かせ下さい。

たくさんの方からのメッセージをお待ちしています！

